

岡山市長 様

提案者 (団体名) The World Kitchen 実行委員会
 所在地 岡山県岡山市北区出石町 1丁目7-7 3F
 代表 役職 代表
 氏名 岡田 栞那
 協働課 岡山市市民協働局市民協働部人権推進課
 所在地 岡山市北区大供1丁目1-1
 代表 役職 課長
 氏名 小玉 利昭

2026年度 市民協働推進事業提案書

岡山市との協働により課題解決を図るため、2026年度岡山市市民協働推進事業を提案します。

提案事業の名称	The World Kitchen～多様性の輪を広げ、誰もが住みやすいまちづくりを～
提案型 (該当する方に○してください)	行政提案型 <input type="radio"/> NPO提案型 <input checked="" type="radio"/>
①社会課題の概要 ※詳細については様式第2号に記入してください	岡山に住む在留外国人の数は年々増えている中で、在留外国人と地域住民の交流機会が少なく、お互いを知らないがゆえの差別や偏見が生まれ、日常生活の中で共存していても相互に支え合う共生には至っていないことが課題である。さらに、文化的理解の不足から心理的な距離が生まれ、特に在留外国人にとっては、困ったときに頼れる身近な存在がいらないという状況も課題であり、自国のコミュニティに依存してしまう。日本人市民側としても、外国人市民に対してどのように関わってよいか分からないという不安感が生まれてしまう。
②定性的効果 定量的効果 ※解決する内容と評価する指標 ※詳細については様式第2号に記入してください。	食やワークショップ、ステージ企画などを通じて多文化交流の輪が広がり、参加者の意識や寛容性が変化し、多文化や多様性への理解が深まる。これらの効果は、参加アンケートを通して、多文化への意識変容や相互理解の深まりを把握する。また、来場者数やリピート率から、継続的な交流や新たなつながりの広がりを確認でき、これらは頼れる存在を増やすことに繋がる。また、掲示板で日常の困りごとを可視化することで、岡山市民(特に在留外国人)の課題解決への第一歩に繋がる。
③提案事業の内容 ※詳細については様式第2号に記入してください	①世界各国の料理を提供する飲食店・団体の出店、世界各国の歌やダンスが楽しめるステージパフォーマンス、英語をつかった交流や文化理解ができるワークショップを実施する多文化交流フードイベント「The World Kitchen」の開催 ②継続的な交流および深い多文化交流を目的として、その国にルーツがあるゲストをお招きし、一緒に伝統料理を作りながら文化交流をする「Mini The World Kitchen」の開催 ③文化の多様性だけではなく、個人の多様性の違いにフォーカスし、世界各国の料理を食べながら対話をするデンマーク発の「コミュニティランチ」の開催 ④人権フェスティバルへの出展 これらのイベントを通じて、The World Kitchen実行委員会が外国人市民と岡山市民の架け橋となって、多様性を認め合い、誰もが住みやすいまちづくりを進めていく。
事業の実施予定期間	令和 8年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月 31日
事業予算総額及び 補助金申請額	事業予算総額 1,977,000円
	補助金申請額, 1,581,000円

市民協働推進事業計画書

(1) 実施体制

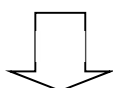
提案者	代表提案団体	The World Kitchen 実行委員会			(担当者名 平松 咲希)		
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				(担当者名)		
	岡山市の担当者	課名	人権推進課			電話	086-803-1070 内線3927
		担当	氏名	瀧川 賢之		職名	主事
			氏名	和田 美也子		職名	会計年度職員
		課名				電話	
		担当	氏名				職名
氏名						職名	

(2) 事業の目標・内容 ※以下、数値や指標など用いながら具体的に記載してください。

①社会課題の概要	<p>※各種調査結果や他の地域と比べた岡山市の現状など ※岡山市が取り組む理由(各種計画に基づくものか、新規に取り組むものかなど)</p> <p>現在、岡山県における在留外国人は令和6(2024)年12月末現在 38,886人(全国総数 3,768,977人の約1.0%)で、前年(2023年)末に比べ、2,958人増加し、過去最多を記録している。岡山市でも令和6年度末時点、前年度と比べ7.7%増加し、16,417人となっている。その数は、日本の労働人口の減少や外国人に対する入国制限の緩和に伴い、今後ますます増えていくことが予想される。その一方で、日本人と彼らが交流する機会は少なく、技能実習生の失踪や義務教育年限の外国人の子どもの不就学・在日外国人と地域社会の摩擦・軋轢などが問題視されている。岡山では、日本語学校に通う学生の「同世代の日本人の友人が出来ない」という声や、外国人の離職率が高いという現状がある。このような中、どのようにして多文化共生社会を実現していくかということは岡山市としても大きな課題となっている。</p> <p>そうした中、岡山市では、現在、新たな総合計画の策定に取り組んでおり、人権推進課では、目指すべき方向性として、国籍や年齢、性別にとわれないことのない、多様性を認め合える社会づくりの実現に取り組むこととしている。</p> <p>併せて、令和6年度、「人権教育及び人権啓発に関する基本計画」を改定し、その中でも、外国人市民が地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加できる環境づくりに努めるとしていることから、お互いに人権を尊重し合い、共生社会の実現に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p>令和7年9月23日、ファジアーノ岡山ホームゲームにおける、「多様性の尊重ブース」において、「外国人市民との共生社会に必要なこと」を聞く、アンケートを実施したところ、お互いの人権を尊重することが36.1%、国際感覚を身に着けけること13.9%、イベントなど交流の場を増やすこと10.0%、異文化の理解促進のための情報発信をすること11.5%などとなっており、The World Kitchenと協働で事業に取り組むことは重要な位置づけとなる。</p> <ul style="list-style-type: none">・在留外国人と地域住民の接点が少ない 岡山市では外国人市民が年々増えている一方、普段の生活の中で自然に交流が生まれる場が限られている。地域イベントも日本人向けであったり、外国人が参加しづらい環境が続いている。・共存してるだけで共生してない 外国人市民が地域にいるものの、生活圏が分断され、日常の困りごとを相談したり
----------	--

	<p>助け合ったりする関係性が築かれていない。たとえばゴミ出しルール、災害時の避難所情報、子育て支援などについて、互いに教え合う仕組みがなく、ただ同じ場所に住んでいるだけである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの国の文化を深く知らないことで距離感がある 外国人市民の文化・習慣・宗教・価値観を知る機会が乏しい。そのため誤解や遠慮が積み重なり、地域住民は「どう接したらいいかわからない」、外国人市民は「迷惑をかけないように距離を置く」といった状況が生まれ、本来必要のない壁ができてしまっている。 ・ いざとなった時、助けてもらえる人が身近にいない 言語・文化の壁から、外国人市民は地域に頼り先が少なく、病気・災害・書類手続きなどの場面で孤立してしまう恐れがある。地域住民側も助け方が分からず、互いに支え合える関係が未形成である。
<p>②定性効果と定量的効果</p>	<p>※事業を評価するための、解決する具体的な内容と指標を記入して下さい</p> <p>【定性的効果】 参加アンケートや掲示板からわかる意識変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食やワークショップ、パフォーマンスをきっかけとして、多文化に興味がなかった層も含めて、多文化交流イベントに参加することで、多文化や多様性に対する意識が向上し、寛容性が高まる。 ・ 共生社会の理解を深めることで、外国人市民の暮らしやすさの満足度の向上。 <p>【定量的効果】</p> <p>■来場者数の推移、リピート率（出店者・出演者含め）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを通じて、コミュニティの枠を超えた出会いが生まれ、まちに知り合いが増えることで、頼る先が増える。 ・ The World Kitchenのファン（リピーター）が増えることによって、彼らが知人・友人に紹介し、新規のお客さんが増える。 <p>■参加者のお困りごとを集める掲示板の掲示件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント内に設置した掲示板では、参加者が日常の暮らしの中で感じている「お困りごと」を自由に掲示できるようにし、その内容を可視化することで、解決へ向けた第一歩とする。 ・ アンケートによる多様性社会の実現度の把握
<p>③提案事業の内容</p> <p>※箇条書きで簡潔に書いてください</p>	<p>1年目の目標</p> <p>◎The World Kitchenに参加する人を増やしていく中で、外国人・日本人に関わらず誰もが主役になれるまちづくりを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「The World Kitchen」が、在留外国人や様々なコミュニティの人のお困りごとを改善するきっかけの場としても機能させる。 ・ イベントのリピーターを増やす。来場者数を増やす。 ・ Instagramフォロワー2000人 ・ Mini The World Kitchenのゲストや参加者に、より地元の人に参加してもらう ・ 出店者・出演者の新規開拓・新しいWS企画の発案 <p>(実行委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山市と協働し、弊団体が企画するイベントに在留外国人やいろんなコミュニティの人が気軽に悩みを打ち明けられるブースを作る ・ 来場者の声(イベントの感想やお困りごとなど)を集める掲示板を設置する ・ 多文化共生や多様性、在留外国人の支援に取り組んでいる団体のブース出展を実施する。 ・ 参加者に次のイベントの告知や出店者・出演者の紹介を行い、リピーターを増やすとともに、The World Kitchenを通じた継続的な交流を狙う ・ 参加者にInstagramをフォローしてもらえよう促す ・ 公民館など、地域の方が目にする場所にチラシを配布する ・ Mini The World Kitchenのゲストに、開催する地域に住む外国人を招待する地域に住む外国人が主役になる場を提供するとともに、地域内でのコミュニティを枠を超えた出会いが生まれ、その後の交流にも繋がりがやすくなる。 ・ Mini The World Kitchenでレシピを参加者に配布する

	<p>イベントでつくった料理を家でもつくれる導線を提供することで、日常に多文化を取り入れるきっかけをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出店者・出演者の新規開拓・新しいWS企画の発案することで、まだ触れられていない文化や多様性にアプローチする ・ イベントの最新情報を市のHPに随時記載する
	<p>(岡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街中でのThe World Kitchenで交流人数を増やし、困りごとを気軽に解決できる新たなコミュニティの形成に取り組む。 ・ 地域住民との交流を図ることで、外国人市民に対する理解も進むので、公民館でのMini The World Kitchenの開催とともに人権推進課が所管する福祉交流プラザでも実施する。 ・ 情報発信力を高めることで、イベントの集客を図り、TikTok「みんなの個性の学校」で、「外国人大学生の1日(案)」などの動画を制作し、SNSを通じて気軽に文化や習慣に触れてもらう機会を増やす。 ・ 岡山市民デーなど、プロスポーツチームの試合会場でのキッチンカー販売。 ・ イベント参加者へアンケートを実施し、岡山市での共生社会の実現度をはかる。 ・ 言葉の壁が大きいことから、イベントでは、各国の簡単なことばを理解する ・ 共生社会実現に向けたWSを開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の実施に向け、実験的に小中学校への出前授業を実施し、次世代を担う子どもたちへの多文化教育を行う。
	<p>2年目の目標 ※1年目で終了する場合、記入の必要はありません どのような成果を出していくか ◎岡山の各地域で様々な主体が協働しながら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ The World Kitchenを年2回開催する ・ Mini The World Kitchenおよびコミュニティランチの開催エリアを広げる ・ 他の活動団体とのコラボイベントを増やす ・ 拠点を他の大学や地域にも増やす土台をつくる
	<p>(実行委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ The World Kitchenを年2回開催できるよう体制の強化 ・ 他の活動団体とのコラボを増やし、フィールドや対象者の幅を広げる ・ 他の大学や地域団体との連携を深める
	<p>(岡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア交流フェスなど、特定の国に特化したイベントの開催 ・ 小中学校への出前事業(ことばを学ぶ)など



(3) 事業終了後の事業

<p>事業終了後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 次年度に一般施策 <input type="checkbox"/> 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度に一般施策 <input type="checkbox"/> 次年度に提案団体の自主事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度の自主事業 <input type="checkbox"/> その他()
<p>事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ The World Kitchen、Mini The World Kitchenおよびコミュニティランチの定期開催 ・ 拠点の自走化 <p>2年目につくった土台をもとに、岡山市内の他の大学や地域にThe World Kitchenの拠点を増やし自走化することで、各地域でMini The World Kitchen や、コミュニティランチを開催できるようにする。</p>

(4) 事業スケジュール

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

時期		実施内容など	
4月	上旬		
	中旬		第1回コミュニティランチ参加者募集
	下旬		↓
5月	上旬		↓
	中旬		第1回Mini TWK 会場の選定、ゲストの手配
	下旬		第1回コミュニティランチの開催
6月	上旬		↓
	中旬		第1回Mini TWK 参加者募集
	下旬		↓
7月	上旬	会場の選定	Mini The World Kitchenの開催
	中旬		
	下旬		第2回コミュニティランチ会場の選定
8月	上旬	出店者様、出演者様、募集開始	↓
	中旬		↓
	下旬	出店者様、出演者様、決定	第2回コミュニティランチ参加者募集
9月	上旬		↓
	中旬	ワークショップの内容が決定	↓
	下旬		第2回コミュニティランチの開催
10月	上旬		
	中旬	広報（SNS、チラシなど）開始	
	下旬		
11月	上旬		
	中旬	The World Kitchen in Autumnの開催	人権フェスティバル参加者募集
	下旬		↓
12月	上旬		↓
	中旬		人権フェスティバルの開催
	下旬		↓
1月	上旬		↓
	中旬		↓
	下旬		第3回コミュニティランチ会場の選定 第2回 Mini TWKの開催
2月	上旬		↓
	中旬		小学校出前事業
	下旬		第3回コミュニティランチ参加者募集
3月	上旬		↓
	中旬		↓
	下旬		第3回コミュニティランチの開催

(様式第3号)

市民協働推進事業収支予算書

提案事業名	The World Kitchen 実行委員会
-------	-------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	174,000円	出店料 6,000円×29店舗
	売上 参加費	70,000円	コミュニティランチ参加料(1,500円) 1,500円×10人×3回 Mini The World Kitchen 参加料 (大人1,500円、子供1,000円) 1,500円×5人×2回+1,000円×5人×2回
	合同提案 団体負担金等		
自己資金合計(a)		244,000円	
その他収入	前年度繰越金	152,000円	
その他収入合計(b)		152,000円	
岡山市補助金申請額(c)		1,581,000円	
収入合計(d) = (a) + (b) + (c)		1,977,000円	

<支出>

費目		金額	内訳
事業 実施 経費	報償費	53,000	謝礼 (Mini TWK 講師) 9,000円×2回 (パフォーマンス出演者) 30,000円 WS 5,000円
	委託費	391,000	設営費 281,000円 音響 110,000円
	使用料・賃借料	561,600	テント、机・椅子、発電機、その他備品レン タル料
	旅費	20,000	会場と岡山駅間の交通費
	食糧費	86,000	コミュニティランチ 18,000円×2 報告会 50,000円
	通信運搬費	5,000	
	印刷製本費	320,800	Mini TWK (レシピ、チラシ) 4,000円×2 コミュニティランチ (チラシ) 1,200円×3 本イベント (パンフレット、看板) 305,930円 ステッカー50枚 3,270円
	使用料	0	
	手数料	2,000	振込手数料
	原材料費	35,000	Mini TWK 原材料費 15,000円×2回 WS 5,000円
人件費	489,000	TWK in Autumn 1,000円×15人×12h×2日 Mini TWK 2回×1,000円×4人×6h コミュニティランチ 3回×1,000円×5人×3h 人権フェスティバル 1回×1,000円×4人×6h 小学校出前授業 1回×1,000円×3人×4h	
事業実施経費合計 (e)		1,963,400円	
管 理 運 営 経 費	備品消耗品費	13,600	
管理運営経費合計 (f)		13,600円	
総事業費 (g) = (e) + (f)		1,977,000円	

(添付書類等)

- ・人件費等については、積算の根拠 (これまでの実績や独自の単価表) を添付すること
- ・参加料などの事業収入を見込む場合は「その他収入見込」欄に計上すること
- ・委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限りませ